

第12回日韓ワークショップ報告書
外国人労働者問題：日韓比較



第12回日韓ワークショップ報告書
外国人労働者問題：日韓比較

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

ま え が き

労働政策研究・研修機構では、韓国労働研究院（KLI）と共催で、日韓両国に共通する労働政策課題を取り上げて議論し、相互の研究の深化を図ることを目的に「日韓ワークショップ」を毎年開催している。2012年のワークショップは「外国人労働者問題」をテーマとして6月8日に東京で開催した。

日本における外国人労働者問題については、現在、さまざまな立場からの取り組みが検討・実施されているが、解決が急がれる喫緊の課題についても指摘がなされている。具体的には、円高の進行が国内産業に影響と変化をもたらし、高度技能を要する外国人労働者へのニーズを高めており、高度外国人を対象としたポイント制の試行的導入とともに、経済連携協定への対応なども大きな課題となっている。一方で、専門的技術的分野において、世界同時不況の発生後、南米系日系労働者をはじめとした外国人労働者が深刻な雇用不安に直面した。こうした状況をふまえ、JILPTでは研究プロジェクトのひとつとして、この外国人労働者問題を取り上げ、精力的に調査研究を進めている。

一方、韓国においては、雇用許可制度（EPS）の導入など、外国人労働者問題に対して、日本とは異なるアプローチがとられており、その成果と課題が顕在化しつつある。

以上のような背景の下で行った今回のワークショップでは、日韓各国の現状や法整備と課題について、両国の研究者がこれまでの研究成果に基づいて報告し、背景にある文化的・制度的問題や外国人労働者問題の解消に向けた有効な施策のあり方などについて意見交換を行った。

本報告書はワークショップの報告論文を収録したものである。これが今後の両国の外国人労働者問題に関する研究の一助となれば幸いである。

2012年 9月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 山 口 浩 一 郎

目 次

【第1セッション】

- 「韓国における外国人労働者の雇用法制及びその課題」
（キム・キソン 韓国労働研究院 研究員）…………… 3
- 「日本における外国人労働者をめぐる法政策」
（早川 智津子 岩手大学 准教授）…………… 21

【第2セッション】

- 「韓国の非専門職外国人材政策の現状と課題」
（イ・ギョヨン 韓国労働研究院 研究員）…………… 43
- 「日本における外国人労働者の雇用・失業の状況について」
（渡邊 博頭 労働政策研究・研修機構 副統括研究員）…………… 59
- プログラム…………… 102
- 出席者リスト…………… 103